

株式会社 アルシュ arche

arche Journal



アルシュ ジャーナル

## 住まいに関するあれもこれも・・・

いろいろなお役立ち情報をまとめてお届けします！！

## 目次

11月3日は、 明治天皇の誕生日だった！	1
パッシブハウス 世界最高基準の省エネ住宅	2
全国初の空き家解体？	2
高所平気症 高層マンションに潜む危険	3
晴れると寒い・・・？ 放射冷却	3
境界標 勝手に動かしてはいけません	3
ベッドルームが滝の上！？ インベリアル社 3Dフローリング	4

秋も深まり、朝晩はコートがいるくらいの寒さになってきましたね。関西でも、和歌山の方では、すでに紅葉の見ごろをむかえています。大阪で紅葉の名所といえば“箕面”が有名！でも、関西で紅葉といえば、京都にお出かけされる方が多いと思います。大阪から京都へは、アクセスも便利ですし、大阪って緑の少ないイメージです。そんな大阪で密かに人気なのが大阪・泉佐野市の『犬鳴山（いぬなきさん）』。自然豊かな犬鳴山渓谷は、修験道の霊場として有名で、大小さまざまな滝があり現在でも滝行も行われていて、とても神秘的な雰囲気山の山なのだからか。ハイキングコースや温泉もあり、日帰りでも宿泊しても楽しめます。今年の紅葉は、大阪のスポットへでかけてみるのも良いかもしれませんね！



## 犬鳴山

大阪府泉佐野市大木  
例年見頃：11月中旬～下旬  
【泉佐野観光サイト】  
<http://www.kankou-izumisano.jp/iyasi/inunakisan.html>

## 11月3日は、明治天皇の誕生日だった！



もし、歴代の天皇誕生日が全て祝日だったら！なんと！今より63日も祝日が増えるんですよ～

11月3日といえば文化の日ですよ。この日は、明治天皇の誕生日だったので。明治天皇の崩御後、この日はいったん祝日ではなくなりました。15年後の昭和2年。国民の帝国会議に対する請願を受け、明治天皇誕生日という名前で再び祝日となったのです。そして昭和21年のこの日。日本国憲法が公布されたこともあり、昭和23年以降は文化の日と名前を改定されました。明治時代も平成の今でも11月3日は祝日なのです。

一方、大正天皇の誕生日は8月31日。現在、この日は祝日ではないですよ。もちろん、大正時代の8月31日は祝日だったのですが、実は、もう1日祝日が多かったのです。8月31日は夏真っ盛り。誕生日を祝う式典が暑くて大変なので、10月31日に式典を行うようになり、この日も祝日だったようです。昭和天皇の誕生日は、今では昭和の日ですよ。もし、これからの天皇誕生日が祝日になっていたら…。

## パッシブハウス 世界最高基準の省エネ住宅

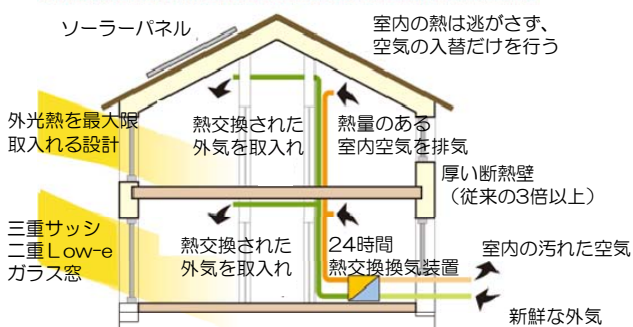
みなさんは、パッシブハウスをご存知ですか？

パッシブハウスとは、ドイツの物理学者ウォルフガング・ファイスト博士発案の世界最高基準を満たした省エネ住宅のこと。熱交換率が良く、住む人にも環境にも配慮された「無暖房住宅」とも呼ばれています。

パッシブハウスの基準は、年間の冷暖房負荷（※1）・気密性能（※2）・住宅全体の一次エネルギー消費量（※3）の3つの項目があります。中でも特にハードルが高いのが、年間の冷暖房負荷。

基準をクリアするためには、冷房・暖房それぞれのエネルギー使用量を床1㎡に対して、1時間あたり15kW以下に抑えなければいけません。日本の次世代省エネ基準と比較すると、約2～3倍の断熱性能が求められているのです。

### ●パッシブハウス（高気密住宅）に求められる性能●



#### 【パッシブハウス基準】

- (※1) 冷暖房負荷が各15kWh/m<sup>2</sup>以下であること
- (※2) 気密性能として50Paの加圧時の漏気回数が0.6回以下であること
- (※3) 一次エネルギー消費量（家電も含む）が120kWh/m<sup>2</sup>以下であること

【画像参照】佐貴一級建築設計事務所

<http://www.sanuki-arc.com/passive.html>

寒い冬は暖かく、暑い夏にはカラッと涼しい、そんな住まいは快適ですよ。

そのために冷暖房を使用します。その温度を保つには、家の断熱性能と気密性を高くする必要があります。

熱の出入りは、窓からがほとんど。それなのに日本では、窓における断熱性能の義務基準がないのです。

日本で二重窓が取り入れられたのはここ数年のことですが、環境先進国のドイツやフランスでは当たり前。中には三重窓を使用している家もあるのです。環境先進国から見ると日本の家は、断熱性能が低いために、たくさんの燃料を使って快適な温度を保っている燃費の悪い家なのです。

ただ断熱性能を高めるために、ドイツ仕様の分厚い壁や屋根、床を日本家屋に用いればよいというわけではありません。

日本の地形は、東西南北に延びています。その日本をひとくりにするというわけにもいかないのです。

そして日本には四季があります。パッシブハウスは、冬は快適な家ですが、自然の風で涼を楽しむ日本の夏には、少し不向きなのかもしれません。快適な家とは、その土地の気候や環境などの風土に合うことが大切なのです。

## 全国初の空き家解体？



平成25年に、820万戸だった空き家が平成30年には、1060万戸になると言われています。

アルシュージャーナルでも度々ご紹介している空き家問題。今年5月に全面施行された「空き家対策特別措置法」に基づく取り壊し作業が、10月30日、神奈川県で始まりました。空き家が何故こんなにも危険視されているのかというと、管理の行き届いていない空き家は、倒壊による被害や衛生上の被害などが考えられるからです。その中でも、周囲への影響が特に大きいと思われるものが“特定空き家等”とみなされ、措置の対象となり強制的に取り壊すことになるのです。

もちろん、特定空き家だからといって即解体というわけではなく、助言・指導→勧告→改善命令と、段階的に手順を踏みます。猶予期限付きの命令が出て改善が行われなければ、強制対処の対象になります。改善に着手していても、完了していなければ強制対処が可能という厳しい規定になっています。メディアで取り上げられていても中々実感は湧きませんが、これからの日本は空き家を放置しておけない時代ということ、私たちも自覚していかなければいけないようです。

## 高所平気症 高層マンションに潜む危険



イギリスでは、子育て世代の4階以上の居住を禁止する規制があります

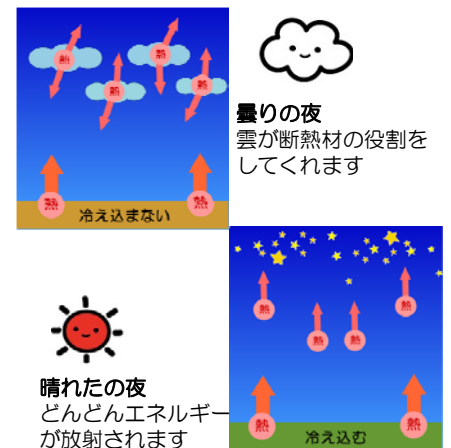
最近、マンションのベランダから幼児が転落するという事故が起こっています。これは高いところを高いと思わない、高所平気症が増えているからだとか。子供は、自分の目線の高さを基準に地面との距離を把握し、高いかどうかを判断します。高層階で暮らす子供は、空に近い景色は見えていても、地面が見えないため高い場所が怖いと思う感覚が育ちにくくなるのです。ジャングルジムや滑り台など、地面が見えるいろいろな高さの遊具で遊ぶことで、高いところは危険だという感覚を持たせることが大切です。

また、マンションの構造にも問題が…。マンションのベランダの手摺の高さは、110センチ以上と建築基準法で定められています。この高さは安全なのでしょうが？子供は4歳ごろになると70センチほどの台に足をかけて上がることができます。60センチ程度なら飛び移ることもできるのです。室外機などに登り、手摺に飛び移るなんて簡単にできてしまうのです。子供は大人が思ってもみない行動をします。ベランダに置いてあるものや位置を再確認し、安全対策を行いましょう。

## 晴れると寒い…？ 放射冷却

夕べは、晴れていたのに、なんで今朝はこんなに寒い？それは、放射冷却の仕業なのです。お湯を沸かしたやかんは、とても熱いですよね。そして、しばらく放っておくとだんだん冷めてきます。これは、やかんという物体が外へエネルギー（熱）を出し（＝放射）、冷えている（＝冷却）からなのです。日中は、太陽の熱を地表面が吸収し温度が高くなります。そして夜になり気温が下がることで、そのエネルギーが地表面からどんどん放射されていきます。この時、上空に雲があると、地

表面から放射されたエネルギーの一部は雲に吸収されます。そして、雲はそのエネルギーを地表面へも放射するのです。すると地表面は暖まり、気温が下がりにくくなるのです。まるで、雲が断熱材の役割をしているようですよね。反対に、晴れている日は、断熱材役の雲がありません。地表面から放出したエネルギーが、上空へ更に温度が低い宇宙へと放射され、気温が下がり続けるのです。晴れた日の翌朝、厳しい寒さで布団から出るのがおっくうに……。遅刻しないように気をつけましょう！



## 境界標 勝手に動かしてはいけません！



全て境界標です。いろいろな種類があります

道路や隣接地との境界の確認はとても大切な事。きちんとしておかないと、後々大変なことになるかもしれません。地面に左の写真のようなものが埋まっているのを見たことはありませんか？これが、土地の境界を示す境界標（境界ポイント）なのです。材質や大きさなどに関する制約がないので、さまざまな種類があります。以前は御影石などの石杭やコンクリート杭が多く見られていたのですが、摩耗などで分らなくなるため、最近では金属プレートが多くなっています。

土地は四角形とは限りませんよね。いびつな形の土地の場合、境界標は境界の角ごとに設置します。そうすることで、それぞれの境界標を結んだ線が隣地との境界線になるのです。境界標が無く不明な場合は、土地家屋調査士などに依頼し、法務局や道路管理者が調査した結果に基づいて測量を行います。そして隣接地の所有者立ち合いのもと境界を確定し、新たに設置をします。境界標を勝手に撤去したり移動すると刑法犯になるのでご注意ください！

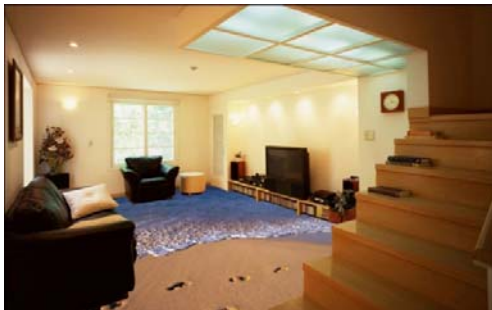


## ベッドルームが滝の上！？ インペリアル社 3Dフローリング



ベッドルームに入ろうとドアを開けると、いきなりこんな風景だったら、あなたはどうしますか？ 入るのを躊躇してしまう？ 落ちそうになり、のけぞってしまう？ なかには悲鳴を上げてしまうなんて人もいるのではないのでしょうか…？

この部屋は、深い谷の滝の上にある湖にあるわけではありません。普通のベッドルームなのです。こんなリアルな風景を再現しているのは、ドバイにあるインペリアル社が販売している3Dフローリング。



【画像参照】 SOCIAL DESIGN NEWS <http://social-design-net.com/archives/22333>

このフローリング、床材のエポキシ樹脂に3Dプリントを施しています。この再現力、本当にその場所にいるようですよね。谷の上のベッドルームなんて、慣れるまでは何度もソットするかもしれませんね（笑）。忙しくてリゾートに行けない人は、部屋ごとにフローリングを変えれば、いろんなところへ旅した気分になり、家に居ながらリフレッシュすることもできますよ。寒くなってくるこの季節には、暖かいビーチのフローリングで、南国にいる気分を味わうのもいいかも♪ この3Dフローリング、ドバイでも個人の家で使っている人は少なく、ホテルやショッピングモールで利用されています。残念ながら、現時点では日本への発売もしていないようです。

アルシュでは、ご自宅を公開していただけるお客様を募集しております。ご自宅にお伺いしての写真撮影・インタビューなどに、ご協力をお願いします。また、楽しくなるようなひらめきや工夫でECOライフを楽しんでいる方のお話なども募集しております。その他ご質問や取り上げてほしい話題・住まいに関する疑問、我が家のペット自慢等々、是非お気軽にお寄せ下さいませ。皆様からの、率直なご意見・ご感想 お待ちしております。

新築・リフォーム・住まいのことなら！

株式会社 アルシュ arche

〒564-0063 吹田市江坂町1丁目9番17号

TEL : 06-6380-5420

FAX : 06-6380-5421

Email : arche@blue.ocn.ne.jp

<http://www.arche-arche.net>